

研究課題名	<p>2018-034</p> <p>肺がんに対するカルボプラチン併用療法におけるパロノセトロンの有効性に関する現状調査</p>
実施責任者	<p>名古屋掖済会病院 薬剤部 薬剤員 吉村拓也</p>
研究の概要	<p>海外のガイドラインにおいて、カルボプラチン併用療法ではアプレピタントの使用が推奨されているが、本法のガイドラインではパロノセトロンが記載されており、当院もこれに従っている。</p> <p>当院におけるカルボプラチン併用療法における悪心・嘔吐の発現に関する現状について、当院の電子カルテシステムより情報を収集して検討します。</p> <p>この内容には氏名・住所といった個人を特定できるような情報は含みません。</p>
実施の期間	<p>2016年 4月 1日 より</p> <p>2018年 3月31日 まで</p>
研究対象	<p>上記の期間に、肺がんに対してカルボプラチン併用療法の初回投与が行われました患者様が対象となります。</p>